

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
640 社会教育運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	社会教育法		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	加藤 裕晃	435-1138
関連課	教育委員会各課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		社会教育総務費	
	大事業		社会教育総務事業	
中事業		社会教育運営事業		

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にするための事業か ○社会教育委員により和歌山市の社会教育の在り方を審議してもらい、市民にとってより良い社会教育を構築する。 ○社会教育指導員による市民集会等での指導により、人権問題等の改善を図る。 ○教育財産として所有する打越山の維持管理。		全体事業概要 ○社会教育委員定例会議を開催する。 ○社会教育指導員を市民集会等に派遣する。 ○打越山の草刈等を実施する。				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等 打越山の草刈等管理		定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等	定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等	定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等	定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,383	1,330	1,969	1,832	1,883	1,654	1,859		1,859	
伸び率(%)	-	-	42.4%	37.7%	▲4.4%	▲9.7%	▲1.3%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	7,442	4,060	4,060	5,712	5,618	5,880	6,976	6,976	
	正規職員以外	1,004	2,428	2,428	351	427	733	87	87	
	小計	8,446	6,488	6,488	6,063	6,045	6,613	6,045	6,045	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	1,383	1,330	1,969	1,832	1,883	1,883	1,859		1,859	
所要人数(人)	正規職員	0.98	0.53	0.53	0.72	0.71	0.74	0.87	0.87	
	正規職員以外	0.48	1.11	1.11	0.16	0.16	0.24	0.04	0.04	
主な予算内訳	附属機関委員報酬 210千円、樹木等処分委託料 1,458千円、各種会議負担金 184千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
成果指標	社会教育委員定例会議の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標	打越山の草刈	件	目標値	1	1	5	5	5
			実績値	1	1	2		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	40.0%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	打越山の管理等、現状維持が必要。
見直し・改善内容	社会教育行政を推進するため、社会教育委員定例会議において、より広く意見を集め、施策へ反映させていく。 打越山については、将来、防災公園として活用する方向で、適正な担当部署への移管を検討していく。